

令和5年度富山市交通安全対策協議会総会 議事概要

1 日 時 令和5年5月25日（木） 午後2時から

2 場 所 富山市役所 東館8階 大会議室

3 出席者 委 員：別紙出席者名簿のとおり

事務局：浅野防災危機管理部次長、廣瀬生活安全交通課長、西野生活安全交通課主幹、坂田生活安全交通課主幹、柴野生活安全交通課長代理、交通安全関係事業所管課職員

4 内 容

(1) 本協議会における役職、部会構成について

事務局：協議会会則に基づく会長指名により、各交通安全協会の会長に副会長をお願いする。また、交通安全運動、交通安全教育、高齢者事故防止の各部会は委員名簿にあるとおり構成するものとし、◎の付してある3名には、各部会長をお願いする。

(2) 寺嶋副会長挨拶

(3) 議 事

報告案件

①最近の交通事故状況について（中央警察署交通官が説明）

②令和5年度富山市交通安全実施計画について

③秋の交通安全富山市民大会について

(4) 主な質疑等

【高齢者安全支援装置設置促進事業について】

委 員：高齢者運転免許自主返納支援事業については、サポカーの補助を入れて運転継続を促す事業の取り組みに変わったという意味合いで良いか？

事務局：令和3年度まで実施していた、高齢者運転免許自主返納支援事業だが、一定の役割を果たしたということで終了した。

一方で、生活にどうしても車が必要な高齢者の方も必ずいらっしゃることから、令和5年度については、新しい事業である高齢者安全支援装置設置促進事業を開始し、生活にどうしても車が必要な高齢者の方の事故防止という取り組みを行うこととした。高齢者運転免許自主返納支援事業も本事業も、どちらも高齢者の自動車運転の事故を減少させる取り組みと考えている。

一方で、自主返納の促進も引き続き重要なことであるので、市としては、

シルバー交通安全教室等の機会に自主返納についても促進できるように説明させていただきながら、新しい制度を進めていきたいと考えている。

委 員：どのように本事業の周知を行うか？

事務局：ディーラー系の販売店は協会を通じて周知させていただいている。量販店は、サポカー補助金の際に後付け装置の補助を行っていた量販店へ個別に書類等を送付して、周知を図っているところである。

一方、市民の方については、広報とやま5月20号で、大きな周知を始めたところである。市のホームページやシルバー交通安全教室でも周知を図っていく。加えて老人クラブを経由した周知方法を考えていきたい。

【自動車の自動運転について】

委 員：自動車の自動運転の実験が富山県内でも行われている。自動車の自動化が普及した際には、どのような対策が必要なのかという検討を踏まえて事業を考えていかなければいけないのではないか。対策としては制度のどこかに入れて検討を進めても良いのではないかと思う。

事務局：自動運転については、今後もどのように進んでいくのかわからないところであるが、引き続き、情報を積極的に集めて交通安全対策に生かしていきたい。